

福島復興本社における  
賠償・除染・復興推進等に関する取り組み状況  
～福島復興への責任を果たすために～

○ 原子力損害賠償の進捗状況	_____	1	～	3
○ 除染等推進活動状況	_____	4	～	5
○ 復興推進活動状況	_____	6	～	8
○ 流通促進活動状況	_____			9



# 原子力損害賠償の進捗状況について

## <原子力損害賠償のご請求・お支払い等実績>

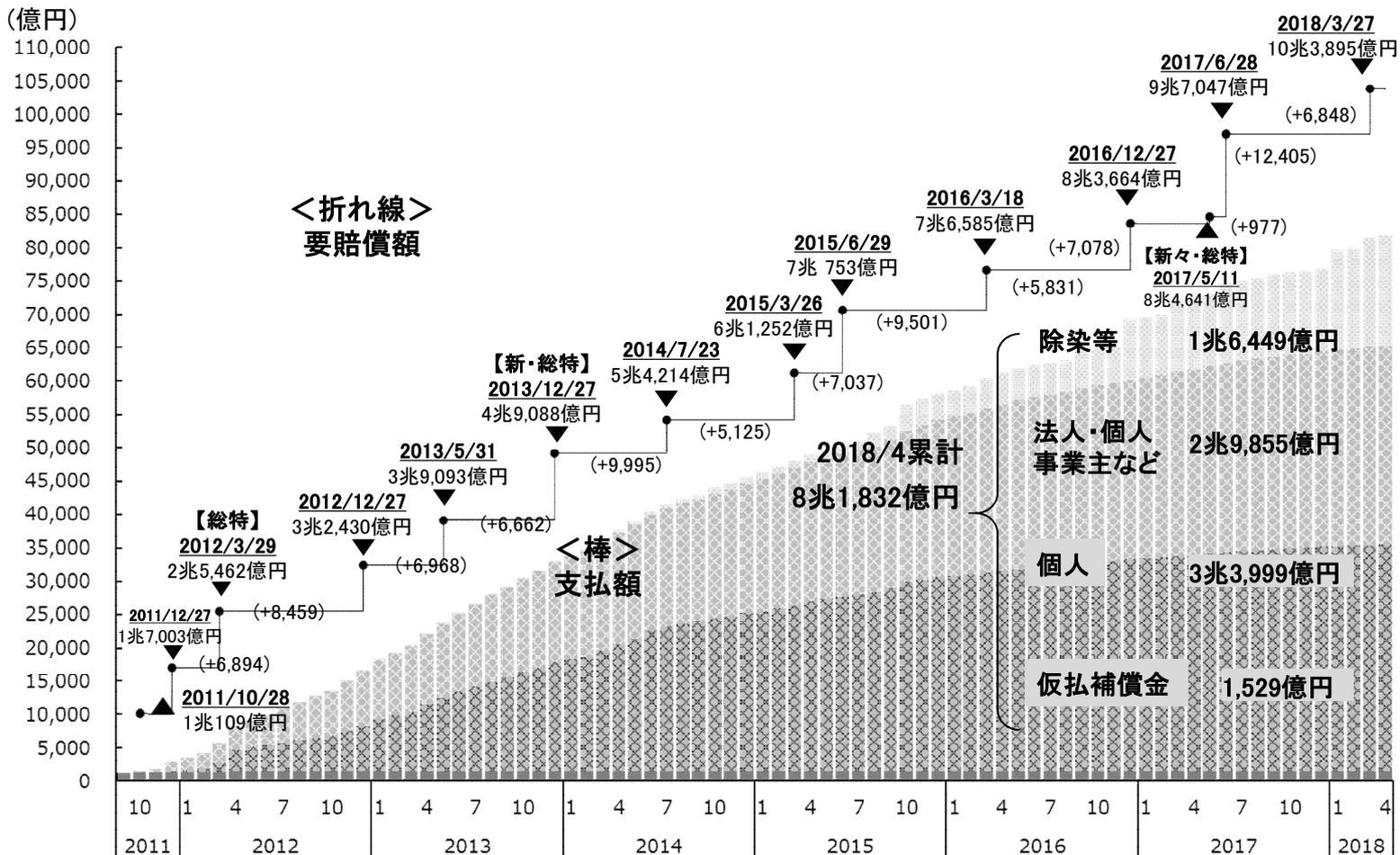
2018年5月18日現在

	個人 ※1	法人・個人 事業主など
<b>ご請求について</b>		
ご請求書受付件数(延べ件数)	約2,367,000件	約478,000件
<b>本賠償の状況について</b>		
本賠償の件数(延べ件数)	約2,248,000件	約412,000件
本賠償の金額 ※2	約3兆4,047億円	約4兆6,343億円
<b>これまでのお支払い金額について</b>		
本賠償の金額 ※2		約8兆0,390億円 ①
仮払補償金		約1,529億円 ②
お支払い総額		約8兆1,918億円 ①+②

※1 個人の自主的避難等に係る損害を含んでおります。

※2 仮払補償金から本賠償に充当された金額は含んでおりません。

## <賠償支払額及び要賠償額の推移>



<賠償項目別の合意金額の状況>

	要賠償額<A> (3/27資金援助額変更申請)	合意いただけの実績 <sup>※1</sup> <B> (2018年4月末現在)
<b>I. 個人の方に係る項目</b>	<b>20,598億円</b>	<b>19,645億円</b>
検査費用等	3,352億円	2,649億円
精神的損害	10,967億円	10,752億円
自主的避難等	3,626億円	3,626億円
就労不能損害	2,652億円	2,616億円
<b>II. 法人・個人事業主の方に係る項目</b>	<b>29,657億円</b>	<b>28,217億円</b>
営業損害	5,258億円	5,084億円
出荷制限指示等による損害及び風評被害	17,781億円	17,266億円
一括賠償（営業損害、風評被害等）	3,084億円	2,306億円
間接損害等その他	3,532億円	3,559億円
<b>III. 共通・その他</b>	<b>20,917億円</b>	<b>17,517億円</b>
財物価値の喪失又は減少等	14,756億円	13,605億円
住居確保損害	5,910億円	3,661億円
福島県民健康管理基金	250億円	250億円
<b>IV. 除染等<sup>※2</sup></b>	<b>32,721億円</b>	<b>16,449億円</b>
<b>合計</b>	<b>103,895億円</b>	<b>81,829億円</b>

※1 振込手続き中の方も含まれるため、これまでのお支払金額とは一致しません。

【B/A 79%】

※2 閣議決定及び放射性物質汚染対処特措法に基づくもの。

<ご案内を開始している主な賠償項目>

	個人	法人・個人事業主
2011年	8月:個人本賠償 ・精神的損害 ・就労不能等に伴う損害 ・検査費用 ・避難・帰宅・一時立入費用 ・生命・身体的損害等	9月:法人本賠償 ・営業損害 ・出荷制限指示等による損害 ・風評被害 ・間接損害等
2012年	2月:自動車に対する賠償 自主的避難等に係る損害に対する賠償 7月:建物の修復費用等に係る賠償	2月:自動車に対する賠償 12月:償却資産および棚卸資産の賠償
2013年	3月:宅地・建物・借地権等に係る賠償 家財の賠償 11月:田畑に係る賠償	3月:宅地・建物・借地権等に係る賠償 11月:田畑に係る賠償
2014年	1月:精神的損害(要介護者さま等への増額)に係る賠償 3月:移住を余儀なくされたことによる精神的損害に係る賠償 早期帰還に伴う追加的費用に係る賠償 避難指示解除後の相当期間に係る賠償 仏壇の賠償 4月:住居確保に係る費用の賠償 7月:墓石等の修理に係る賠償 9月:宅地・田畑以外の土地および立木に係る財物賠償 自主的除染に係る費用の賠償	9月:宅地・田畑以外の土地および立木に係る財物賠償 自主的除染に係る費用の賠償
2015年	2月:家財の個別賠償 3月:福島県の避難指示区域以外の地域における立木に係る財物賠償 4月:墓石等の移転に係る賠償 6月:避難指示解除準備区域・居住制限区域における精神的損害の追加賠償	3月:避難等対象区域内の農林漁業以外の事業者さまに対する仮払 福島県の避難指示区域以外の地域における立木に係る財物賠償 6月:新たな営業損害賠償等
2016年	2月:住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	12月:農林業者さまに対する2017年1月以降の営業損害賠償等
2017年	2月:住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	12月:平成30年以降の避難指示区域外の農林業における風評賠償
2018年	1月:移住を余儀なくされた区域における住居確保にかかる費用の賠償のお取り扱い 3月:2018年4月以降における個人さまの避難・帰宅等にかかる費用の賠償のお取り扱い	

<ADRの対応状況>

2018年5月18日現在

申立件数		23,725件
解決件数	全部和解件数	17,992件
	取下げ件数	2,317件
	打切り件数	1,760件
	却下	1件
現在進行中の件数		1,655件

出典：原子力損害賠償紛争解決センターHPより

※申立件数のうち、当社に送達がなされているのは23,553件(4月末現在)

※当社に送達された件数は月平均で約96件(平成30年度)

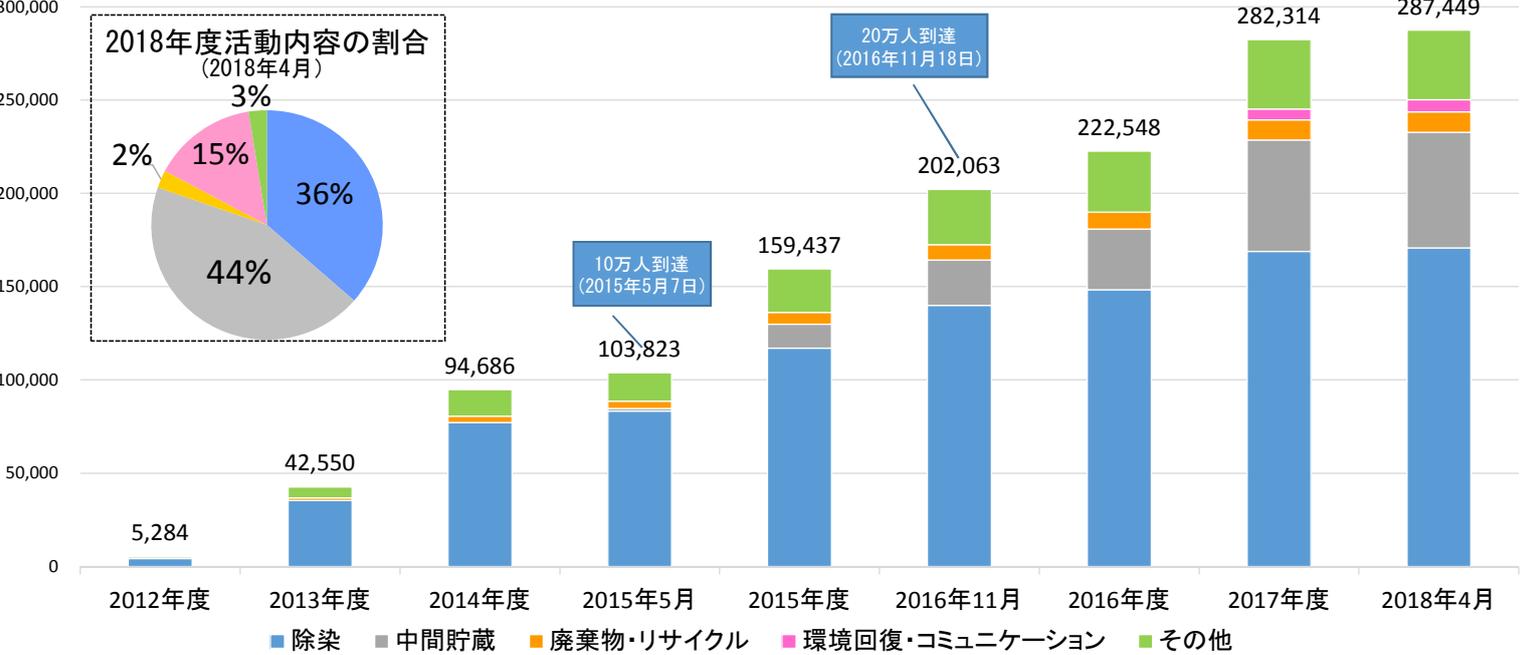
※現在進行中の件数のうち、104件は一部和解が成立している

※和解金額は約2,969億円

## 4月の活動実績

除染	中間貯蔵	廃棄物・リサイクル	環境回復・コミュニケーション	その他
				
1,871人 (36%)	2,253人 (44%)	127人 (2%)	753人 (15%)	131人 (3%)
4月の活動実績合計				5,135人
復興本社設立 (2013年1月) からの累計				287,449人

(人) [活動内容別実績 (累計)] 2013年1月～2018年4月



## 至近の主な取り組み



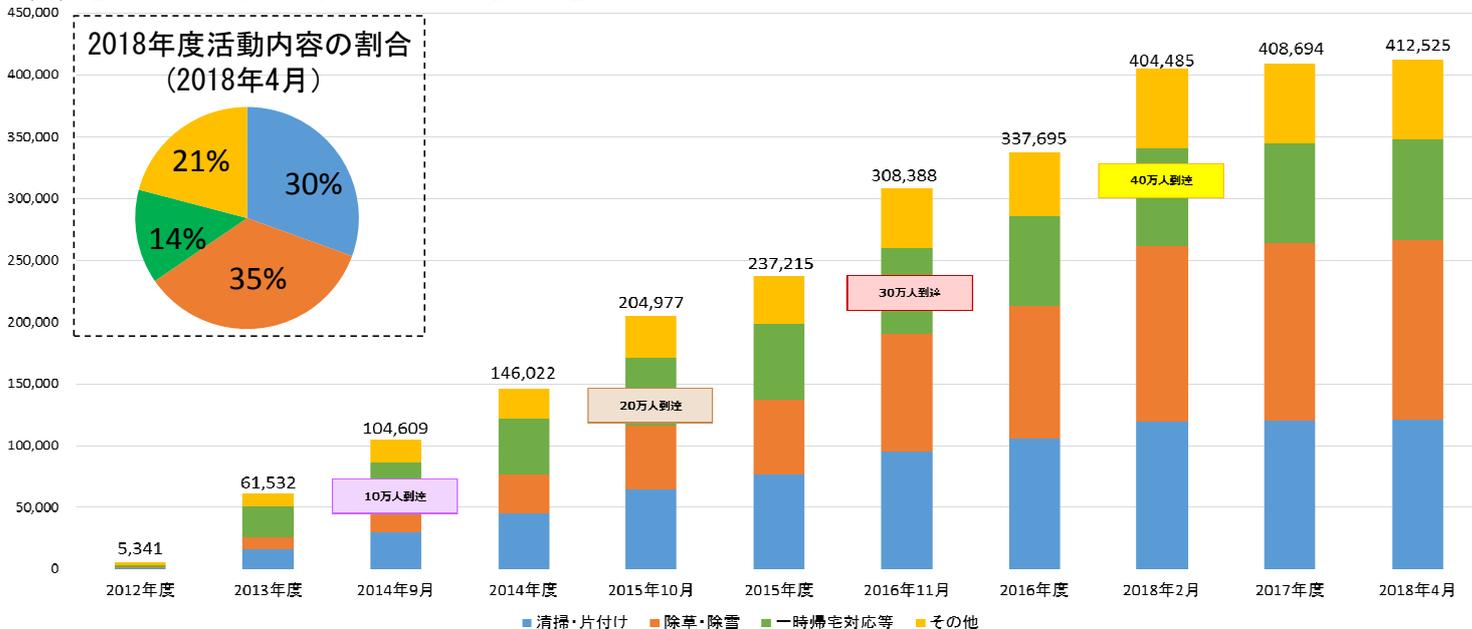
Jヴィレッジ一部再開に向けたモニタリング等への対応



## 4月の活動実績

清掃・片付け (屋内清掃・大型家財搬出等)	除草・除雪 (町道・住宅進入路・公共施設等)	一時帰宅対応等	その他 (イベント運営補助・介護研修会等)
			
1,171人 (30%)	1,335人 (35%)	524人 (14%)	801人 (21%)
4月の活動実績合計			3,831人
復興本社設立 (2013年1月) からの累計			412,525人

(人) [活動内容別実績 (累積)] 2013年1月～2018年4月



## 至近の主な取り組み



## 第3回「川内の郷かえるマラソン」への協力

実施時期

【マラソン大会】2018年4月28日

【復興推進活動】2018年4月19日、21日、23日、24日、26日、27日、28日

実施場所

川内村

実施人数

社員 延べ46人

実施内容

第3回「川内の郷かえるマラソン」の開催にあたり、事前準備（周辺道路・コース清掃、看板設置、駐車場整備等）および当日の駐車場での車両誘導に協力

### <活動の様子>



周辺道路清掃の様子 [2018年4月24日撮影]



看板設置作業の様子 [2018年4月26日撮影]



車両誘導の様子 [2018年4月28日撮影]



当日の様子 [2018年4月28日撮影]

## 「なの花めいろ」への協力

実施時期

【イベント】2018年4月28日～30日、5月3日～6日  
【復興推進活動】2018年4月21日、22日、28日～30日、5月3日～5月6日

実施場所

南相馬市

実施人数

社員 延べ62人

実施内容

「なの花めいろ」の開催にあたり、約2.3ヘクタールの迷路づくり（設計図をもとに、菜の花を1本ずつ抜き取り）および駐車場での車両誘導に協力

### <活動の様子>



迷路づくりの様子 [2018年4月21日撮影]



迷路づくりの様子 [2018年4月21日撮影]



車両誘導の様子 [2018年5月4日撮影]



当日の様子 [2018年5月4日撮影]

## フードサービス研究会様へ福島県産品に関する講演・試食会を開催

- ▶ 当社は、福島県、全農福島県本部、福島県酒造組合など多くの関係者の皆さまからのご支援のもと、首都圏を中心とする飲食店において、福島県産品の流通拡大に向けた施策・取り組みを進めています。
- ▶ 具体的には、全国の有名外食企業の経営者等で構成される「フードサービス研究会」様と本年4月より協議を重ね、この度、講演会と試食会を開催させていただきました。
- ▶ 講演会では県産品の安全確保対策等のご紹介のほか、試食会では福島県産食材を使った料理15品目、福島のお酒24銘柄をご賞味いただくなど、福島県産品の品質や魅力・おいしさを実感いただくとともに、外食業界と福島県の関係者の皆さまとの交流の場になりました。
- ▶ 今後も、福島県の関係者の皆さまと連携し、福島県産品の流通拡大に向けた取り組みを進めてまいります。

### <第1部 講演会>

日 時：2018年5月16日（水）18時20分～19時45分  
 場 所：株式会社ぐるなび本社 6 F（有楽町）  
 参加者：フードサービス研究会会員様他 約40名  
 講 演：①福島県産農林水産物の生産状況と安全確保対策（福島県）  
 ②福島県産品生産現場の紹介、こだわりの生産方法、美味しさ・特徴について（全農福島県本部）  
 ③福島のお酒について（福島県酒造組合）  
 ④川俣シャモについて（川俣町農業振興公社）

■ 講演会の様子



### <第2部 試食会>

日 時：2018年5月16日（水）20時00分～21時00分  
 場 所：三笠会館本店（銀座）  
 参加者：フードサービス研究会会員様他 約70名  
 試 食：・福島県産食材を使った料理 15品目  
 【食材】福島牛、麓山高原豚、川俣シャモ、アスパラガス、お米等  
 ・福島のお酒 24銘柄（21蔵元）

■ 試食会の様子



■ フードサービス研究会 高橋理事長 挨拶



右：福島県 副知事 畠 利行 様  
 左：フードサービス研究会 理事長 高橋 克彰 様  
 (株)キャピタル東洋亭本店 代表取締役社長  
 中央：フードサービス研究会 副理事長 野口 貴幸 様  
 (株)マイルストーン 代表取締役社長

■ 福島牛



■ 福島の野菜



■ 福島のお酒



## 東急百貨店様での大食品祭「福島県の肉」特集の開催

- ▶ 東急百貨店様において、福島県産のお肉（福島牛、麓山高原豚）をメインとしたフェアを開催いただいています。

開催日：2018年5月24日(木)～31日(木)  
 取扱店：東急百貨店8店舗※

※【東京都内：5店舗】  
 渋谷・本店、渋谷駅・東横店、渋谷ヒカリエShinQs、  
 吉祥寺店、二子玉川東急フードショー  
 【神奈川県内：3店舗】  
 たまプラーザ店、日吉東急アベニュー、レ・シ・ビ青葉店

- ▶ 今後の予定

6月：米、野菜、さくらんぼの試食販売会等  
 9月以降：米、肉を中心に販売

■ 渋谷・本店でのフェアの様子



中央：福島県 副知事 畠 利行 様  
 左：東京電力ホールディングス(株)  
 代表執行役社長 小早川 智明